

第1章 最近の経営状況と今後の見通し

調査票 問1

1 昨年同時期と比べた経営状況と景気動向

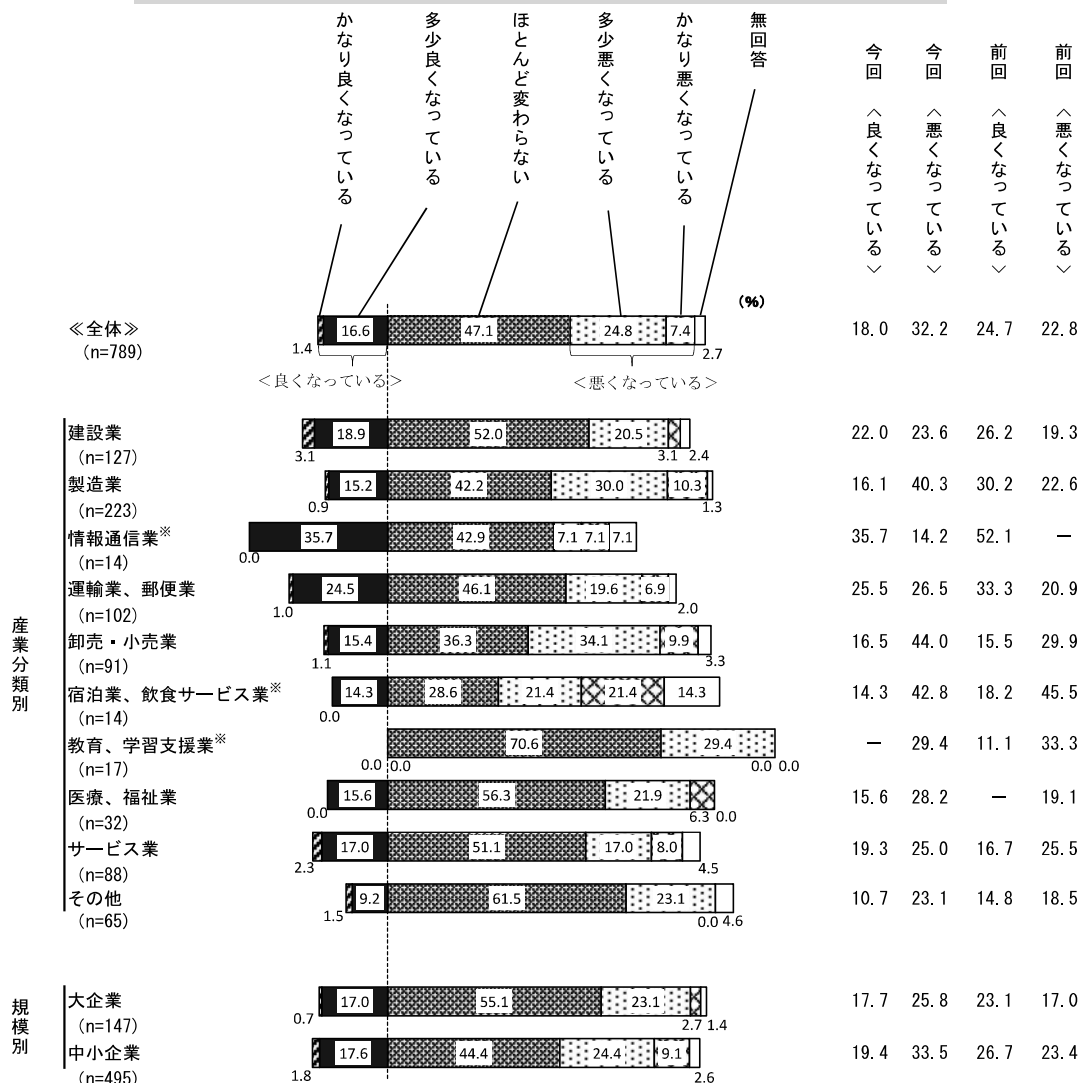
(1) 昨年同時期と比べた経営状況

第1-1-1図は、昨年同時期と比べた経営状況を示したものである。全体では、「かなり良くなっている」(1.4%)と「多少良くなっている」(16.6%)を合わせた<良くなっている>は18.0%となっている。一方、「かなり悪くなっている」(7.4%)と「多少悪くなっている」(24.8%)を合わせた<悪くなっている>は32.2%となっている。前回調査と比較すると、<良くなっている>は6.7ポイント低く、<悪くなっている>は9.4ポイント高くなっており、経営状況はやや悪化傾向である。

産業分類別でみると、<良くなっている>は運輸業、郵便業(25.5%)が最も高く、<悪くなっている>は卸売・小売業(44.0%)が最も高かった。前回調査と比較すると、<良くなっている>が医療、福祉業で15.6ポイント高く、<悪くなっている>が製造業で17.7ポイント高くなっている。

規模別でみると、<良くなっている>は大企業が17.7%、中小企業が19.4%、<悪くなっている>は大企業が25.8%、中小企業が33.5%となっている。前回調査と比較すると、<良くなっている>はどちらも低く(大企業が5.4ポイント、中小企業は7.3ポイント)になっており、<悪くなっている>はどちらも高く(大企業は8.8ポイント、中小企業は10.1ポイント)になっている。

第1-1-1図 昨年同時期と比べた経営状況(生産・販売状況)



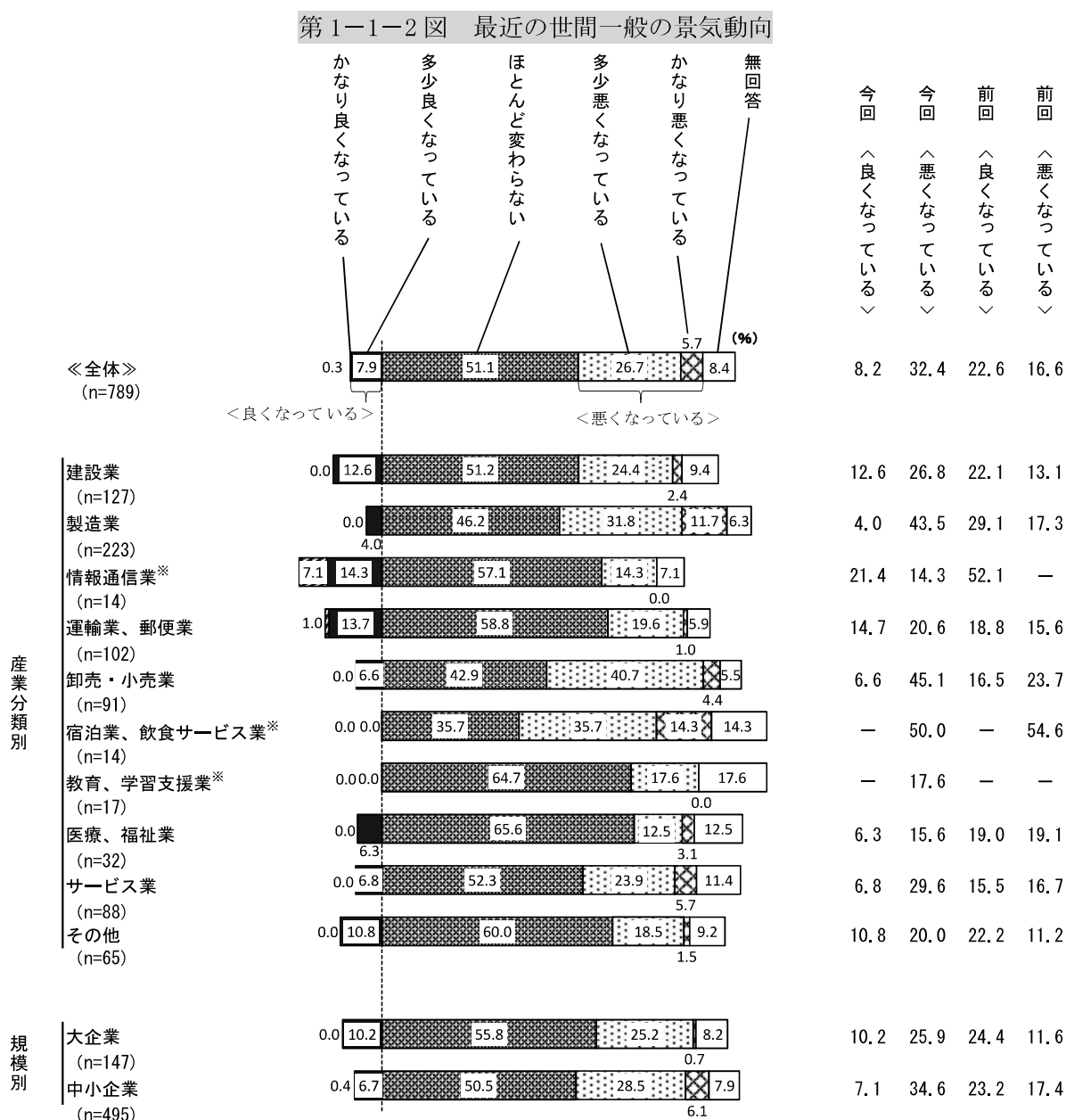
※調査数が30以下は参考値のため、コメント・分析に含めていない

(2)最近の世間一般の景気動向

第1-1-2図は、世間一般の景気動向を示したものである。全体では、「かなり良くなっている」(0.3%)と「多少良くなっている」(7.9%)を合わせた<良くなっている>は8.2%となっている。一方、「かなり悪くなっている」(5.7%)と「多少悪くなっている」(26.7%)を合わせた<悪くなっている>は32.4%となっている。前回調査と比較すると、<良くなっている>は14.4ポイント低く、<悪くなっている>は15.8ポイント高くなっている。

産業分類別でみると、<良くなっている>は運輸業、郵便業(14.7%)が最も高く、<悪くなっている>は卸売・小売業(45.1%)が最も高かった。前回調査と比較すると、<良くなっている>が、すべての業種で低く、<悪くなっている>が、ほぼすべての業種で高くなっている。

規模別でみると、<良くなっている>は大企業が10.2%、中小企業が7.1%、<悪くなっている>は大企業が25.9%、中小企業が34.6%となっている。前回調査と比較すると、<良くなっている>はどちらも低く(大企業は14.2ポイント、中小企業は16.1ポイント)、<悪くなっている>はどちらも高く(大企業は14.3ポイント、中小企業は17.2ポイント)なっている。



2 今後の経営動向

調査票 問 2

第1-1-3図は、今後の経営動向の見通しを示したものである。全体では、「現状維持となる見通し」(54.8%)が最も高かった。以下、「現在より悪くなる見通し」(19.3%)、「現在より良くなる見通し」(8.2%)の順となっている。前回調査と比較すると、「現在より悪くなる見通し」が5.2ポイント高く、「現在より良くなる見通し」が4.8ポイント低くなっている。

産業分類別でみると、すべての業種で「現状維持となる見通し」が最も高く、特に建設業が61.4%と高くなっている。前回調査と比較すると、製造業で「現在より良くなる見通し」は8.1ポイント低くなっており、「現在より悪くなる見通し」は10.4ポイント高くなっている。

規模別でみると、「現状維持となる見通し」が大企業は64.6%、中小企業は54.7%で、ともに最も高かった。前回調査と比較すると、「現在より良くなる見通し」は大企業で8.1ポイント、中小企業で6.6ポイント低くなっており、「現在より悪くなる見通し」は大企業で同水準、中小企業で6.7ポイント高くなっている。

